

森ひろあき

ニュースレター

No.73
2015年3月発行



地域の魅力を発掘、発信!

外食通じて 地元再発見

小倉南の守恒・徳力地区

19店食べ歩き ■ お得メニューも

「ダイアウト(dine out)」は英語で、この地域は、近々に北九州市立が、文教地区委員長の森浩明さん(45)として子育て世代を中心に、航空機の機内誌「ダイアウト」をたまたま知り、委員からは「一転、実行する」という声が多く、地域のつながりが希な「地産地消」にしよう、と、地産地消を結成、なまづ「地産地消」の核となる。

「ダイアウト」は英語で、この地域は、近々に北九州市立が、文教地区委員長の森浩明さん(45)として子育て世代を中心に、航空機の機内誌「ダイアウト」をたまたま知り、委員からは「一転、実行する」という声が多く、地域のつながりが希な「地産地消」にしよう、と、地産地消を結成、なまづ「地産地消」の核となる。

「ダイアウト」は英語で、この地域は、近々に北九州市立が、文教地区委員長の森浩明さん(45)として子育て世代を中心に、航空機の機内誌「ダイアウト」をたまたま知り、委員からは「一転、実行する」という声が多く、地域のつながりが希な「地産地消」にしよう、と、地産地消を結成、なまづ「地産地消」の核となる。



草花や木々も見事に咲き誇り、入学や就職など新生活を始める皆様やご家族を祝っているようです。若人たちの前途を心から応援したいと思います。

2月1日～8日、「ダイアウト守恒・徳力」という食を通じた地域イベントを開催しました。「ダイアウト(Dine Out)」とは「外食する」という意味です。街を愛する同志たちと昨春から実行委員会を立ち上げ、1年掛けて準備、今年初めて実施しました。

地元飲食店19店舗にご協力いただき、2月1日は食べ歩きの企画。チケットをご購入いただいた185名の皆様にハーフランチ2食とスイーツ1食、合計555食を提供。満足感溢れる参加者の笑顔を見て、私たちも喜びました。2月8日はJRA小倉競馬場をお借りしてスイーツとレースを一度に味わう企画。こちらは女性限定で40名の皆様ご参加。大盛況でした。

今回の事業を通じ、地域には様々な魅力的な人やものが点在しており、その素晴らしさを発掘、発信していくことこそ、地域づくりの原点だと再確認しました。

これからの好季節、皆様のますますのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

北九州市議会議員 **森 ひろあき**

森ひろあき事務所

〒802-0971 北九州市小倉南区守恒本町1-25-15-1001

TEL:093-964-6069 FAX:093-964-6071

E-mail jds06734@nifty.com

http://morihiroaki.cocolog-nifty.com/blog/

市議会ハートフル北九州

〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1

北九州市議会ハートフル北九州

TEL:093-582-2658 FAX:093-582-4867

談 齊藤 淳氏 × 森ひろあき

Kitakyushu City



森：北九州モノレールは今年1月9日、開業30周年の節目の年を迎えられたということで、この辺りからお話を伺いたいと思います。

齊藤：我々が30年間、どういう役割を果たしてきたか、社員全員で確認をしました。そのなかで、我々の誇りは、まず、30年間、人身事故ゼロというものがあります。それと正確運行。台風とか大雨があっても極力正確に運行してきました。さらに沿線の人口増に貢献できたのではないか。そのことをあらためて地域の方々にお伝えしていることを30周年のメインテーマとしています。

森：私も市議会の3月議会で、この間のモノレール開業による人口増や民間投資の増加など、社会的、経済的効果について質問しました。それによると、沿線人口は、企救丘・守恒・徳力の各校区を合わせた人口で比較すると、開業した1985年は約2万人余だったものが、2010年には約3万6千人へ1.8倍に増加しています。この数字の伸びは、同じ期間の小倉南区平均の1.1倍や全市平均の0.9倍を大きく上回っているそうです。

森：次に、今年取り組まれる開業30周年の記念事業について教えてください。

齊藤：1つは今までを振り返るということで、30年前の各駅周辺の写真と現在の写真を比べて、どういう風になっていったか、写真展を各駅で行っています。また、4月以降ですが、30年前の列車、列車そのものは変わっていないのですが、車体の色や座席などが変わっていますので、開業時のオリジナルカラーの塗装とシートを復刻させることを考えています。安全・正確に運行してきたというのは、技術陣がしっかりやってきたという証でもありますので、そういうところも見ていただくということで、これまで行っていた子ども向けのツアーに加えて、大人向けに少しマニアックにバックヤードツアーを行うことを検討しています。あと、一時中断していたのですが、30周年を地域と一緒に祝いたいということで、7月に記念ビール列車の運行などを考えています。

森：利便性の向上という面では何か取り組みがございますか。

齊藤：1つは我々の今後の方向性を示すということで、もっと駅舎を楽しく、皆様が集ってくれるような場所にしたいと思っています。具体的には、平和通駅は少しスペースもありますので、皆さんの憩いの場や待ち合わせの場などにできるよう考えております。もう1つは今年10月、

JR九州さんと一緒にICカード乗車券を発行します。より乗りやすく、快適になるかと思います。愛称は公募で「mono SUGOCA(モノスゴカ)」と決めました。

森：いろいろ本当に楽しみです。最後に、モノレール沿線の活性化について教えてください。

齊藤：例えば、北九州市立大学さんとか競馬場さんとかURさんとかが沿線ありますので、そういう施設や団体などと連携を深めていきたいと思っています。また、先日、皆さんが行われたダイナアウトのような、地域のにぎわいづくりの事業と一緒に沿線の活性化にも取り組みたいと思っています。そういうことを通じて需要を増やしていくことにつながると思います。

森：地域とともにという視点は重要なキーワードだと思います。これからは安全、正確、快適という3本柱を大切に、沿線の活性化の大きな担い手としてモノレールにはご活躍いただきたいと思います。

北九州高速鉄道株式会社代表取締役社長

さいとう あつし
齊藤 淳

【略歴】

1955年岩手県生まれ。1979年日産自動車株式会社入社。2014年北九州高速鉄道株式会社入社、代表取締役



本会議だより

～3月議会(3/2～3/11)～

<特区・水素社会> 地方創生は北九州から

3月議会では暫定予算(4月～6月)を審議、可決。3日の本会議では私も一般質問を行いました。

人口減少という難しい課題に直面している本市にとって、若い世代の雇用機会の創出や成長戦略は不可欠です。そこで、北九州市の成長戦略をどのように実現させていくか、市長の決意と、特区や水素社会実現に向けた取り組みを質問しました。

北橋市長からは「2月27日、国家戦略特区ワーキンググループによるヒアリングが急きょ行われ、私が出席して特区指定に向けた熱意と戦略を強く訴えた」「国の地方創生特区に『アジアBCP特区』を申請した」「本社機能・製造拠点等の誘致を推進するための法人税の軽減措置の提案等を行った」などの答弁がありました。

私から「新日鐵住金八幡製鐵所からの副生水素をパイプラインで市街地に直接供給している『北九州水素タウン』の実証活動をふまえ、水素社会実現に向けた行動を北九州から発信、実行すべき」と提案したところ、北橋市長から「これからも水素社会づくりのトップランナーとしてがんばっていきたい」との答弁がありました。

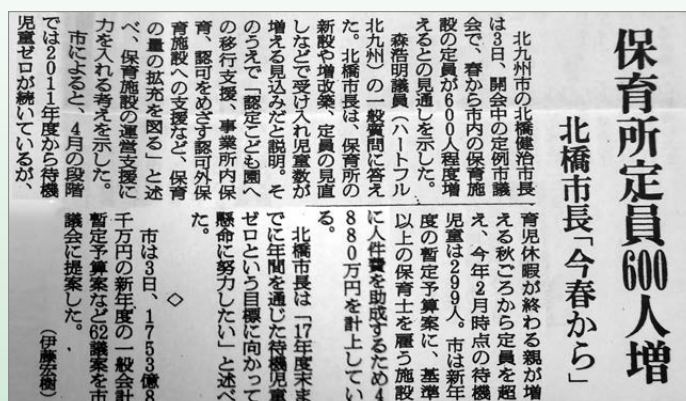


待機児童ゼロを目指して

子育て支援や教育に力を入れることは、子育て世代をはじめ、多くの皆様の願いです。3月議会では、乳幼児医療費等支給制度の拡充を昨年6月議会に続いて強く提案すると同時に、保育の拡充を求めて、年間を通じて待機児童ゼロを目指す本市の取り組みなどについて質問しました。

北橋市長からは「子どもの成長や子育てを支えることは自治体にとって非常に重要」「待機児童解消のため、不足している保育士の確保と保育の受け皿の拡充が不可欠」「2019年4月までに新設、増改築、小規模保育事業、既存保育所の定員の見直し、認定こども

園への移行などを合わせて600人程度の保育の受け皿を確保できる見込み」と前向きな答えがありました。



▲朝日新聞(2015年3月4日朝刊)



▲3月8日から北九州空港発着の国際定期貨物便に導入された最新鋭機(ボーイング747-8F)

北九州空港将来ビジョン

3月議会の本会議で私は北九州空港について「県全体が浮揚する、県全体の振興につながるという視点が重要」「県内に2つある空港の分業、棲み分けについて北九州空港をどのように活かしていくか」と質問しました。

北橋市長からは「福岡空港の利用者にも北九州空港と一体的に運用することでウィンウィンになるということをご理解いただくことが重要」「あらゆるチャンネルを捉えて国や県と共同歩調を取っていきたい」との答弁がありました。

県内にある2つの空港がそれぞれ役割分担をすることで、増加・多様化する航空需要に応え、県内はもちろん、九州全体の発展に寄与できるものと確信しています。引き続き、北九州空港の利用拡大を応援します。

森ひろあき 掲示板

北橋市長を迎えて報告会を開催

1月10日、北橋市長をお迎えして第35回森ひろあき市政報告会を開催しました。翌日が市長選告示という慌ただしい日程でしたが、これまで2期8年間の実績とこれからの4年間に取り組む政策について力強く語っていただき、私たちからもエールを送らせていただきました。北橋市長と力を合わせ元気な北九州を創るために引き続き、取り組んでまいります。



ダイナアウト守恒・徳力の御礼

2月1日から8日までダイナアウト守恒・徳力を開催。1ページで報告しましたように、期間中は200名を超える皆様に楽しんでいただきました。また、行政や地元企業など多くの皆様に貴重なご支援をいただき、北九州市立大生など多くのボランティアの皆様のお力をお借りしました。実行委員の同志にも恵まれました。本当にありがとうございました！心から御礼申し上げます。

第36回市政報告会のご案内

右記の通り、森ひろあき市政報告会を開催します。前半に3月議会の一般質問で取り上げたテーマ（地域経済・保健福祉・教育など）の報告を行い、後半は皆様と楽しく懇親を深めたいと思います。森ひろあきのいまと未来をお伝えいたします。

日時：5月26日(火)

19時～21時

場所：富士見ホール3F 飛翔の間
小倉南区富士見2-8-1

会費：2,000円
(簡単な飲食を準備しております)

※参加ご希望の方は事務所(964-6069)までご連絡下さい



2015年
1月～3月の

あしあと

- 1/5 新日鐵住金八幡製鐵所新年賀詞交換会
- 1/7 北九州商工会議所新年賀詞交歓会
- 1/9 開業30周年記念北九州モノレール感謝のつどい
- 1/9 小倉ロータリークラブ新年初例会
- 1/10 第35回森ひろあき市政報告会
- 1/11 きたはし健治を励ます会
- 1/12 守恒本町どんと焼き
- 1/13 北九州青年会議所新年祝賀会
- 1/25 北九州市長杯小学生ふうせんバレーボール大会
- 1/27 市議会／教育水道委員会(請願審査・報告)
- 2/1 ダイナアウト守恒・徳力(ランチ&ウォーク)
- 2/1～8 ダイナアウト守恒・徳力(ダイナアウトウィーク)
- 2/2 北九州JCシニアクラブ新年会

- 2/5 市議会／教育水道委員会(所管事務調査・報告)
- 2/6 市議会／ギラヴァンツ北九州との交流会
- 2/7 100キロウォーク感謝の集い
- 2/8 ダイナアウト守恒・徳力(JRAコラボイベント)
- 2/15 小倉南消防団発足40周年記念大会
- 2/19 市議会／教育水道委員会(陳情審査・報告)
- 2/20 九州ブロックポリテクビジョンシンポジウム
- 3/2 市議会／本会議(開会・保健病院委員会)
- 3/3～5 市議会／本会議(提案理由説明・質疑・一般質問)
- 3/6・9・10 市議会／保健病院委員会(審査・採決)
- 3/11 市議会／本会議(採決)
- 3/12 広徳中学校卒業式
- 3/18 徳力小学校卒業式
- 3/22 守恒本町町内会総会
- 3/29 守恒本町桜まつり
- (その他、市政相談、調査などを日常的に行っています)



森浩明(もりひろあき)
プロフィール

■生年月日／昭和44年2月6日小倉南区山手生まれ(46歳) ■学校歴／企救丘小・志徳中・小倉高校・早稲田大学を卒業
■職歴／松下政経塾13期生

■議員歴／北九州市議会議員に初当選(最年少27歳)／現在5期19年目／政党は無所属／会派はハートフル北九州／保健病院委員・会派幹事長など務める

■地域活動歴／守恒本町町内会長／小倉ロータリークラブ会員／北九州JCシニアクラブ会員 ■家族／妻と2人暮らし+猫
■好きな食べ物／玉子かけご飯